

地域で母子保健に携わる看護職の方々に向けて、
日本多胎支援協会が多胎家庭支援のためのガイドを作成しました！

地域で母子保健に携わる看護職のための 多胎家庭支援アセスメントガイド



目次

- はじめに
- 本書の使い方
- 母子健康手帳交付時 情報、アセスメントの視点、保健指導
- 妊娠期の面談時 情報、アセスメントの視点、保健指導
- 新生児期（退院後早期） 情報、アセスメントの視点、保健指導
- 生後1か月以降3・4か月児健診まで 情報、アセスメントの視点、保健指導
- 3・4か月児健診時 情報、アセスメントの視点、保健指導
- 1歳6か月児健診時 情報、アセスメントの視点、保健指導
- 3歳児健診時 情報、アセスメントの視点、保健指導
- 多胎の妊娠・出産・育児に関する資料

多胎の妊産婦や母子に対する支援の時期として、「母子健康手帳交付時」「新生児訪問時」また「3～4か月児健診」「1歳6か月児健診」「3歳児健診」それぞれの健康診査において、多胎家庭ならではの支援が強化できるよう、そのポイントを記載しました。

それに加えて、育児が開始される前や、育児が開始されて特に不安を抱えやすい時期に、家庭訪問や電話などでアプローチができれば多胎家庭にとって大きな助けになると考え、「妊娠期の面談時」「生後1か月以降3・4か月児健診まで」について、支援のポイントを記載しました。

2026年2月22日初版発行

amazonサイトにてオンデマンド販売！予約受付中！

販売価格 1,800円＋税（送料込）

<https://amzn.asia/d/9mRY81x>

©2026 Japan Multiple Births Association Printed in Japan

ISBN978-4-911-11509-1

本冊子は、公益財団法人SBI子ども希望財団の助成を受けて制作しました。



※市町村にお送りしたものは
装丁が若干異なります。

